

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	働く女性の家管理事業（政策）						事業類型	管理・運営	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	なし
			05	01	02	05	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	行政主体	
	1 生涯学習						担当課係等	市民課中央出張所	
⑥スポーツ・レクリエーション施設の利用促進								管理担当	
事業期間	単年度のみ								

現状把握の部 (D0)

【目的】	【関連事業】	
既存のトレーニング室を多目的室として改修することにより、多目的な運動等の利用が可能。利用料も無料から有料となり、適切な受益者負担が見込まれる。	なし	
【期待される効果】	【対象者】	
各種の室内スポーツ（卓球やバドミントン、剣道や空手）や踊りの練習など多様に利用できる場所が増え、利用者の利便性及びレクリエーション促進が図られる。	施設利用者	
【全体概要】	【特記事項】	
働く女性の家トレーニング室を利用頻度の高い軽運動室としても利用できる多目的室へと改修。 床を鋼製床下地によるフローリング仕上げとし、照明器具ハロゲンランプ8基をLEDに交換、出入口ドア及び床付近の外部サッシのガラス部分を防ボール仕様とし、空調設備（エアコン・サーキュレーター）の新設、バドミントンコートラインを引き、貸出用卓球台等を設置。	なし	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
なし	トレーニング室改修工事実施設計業務委託 トレーニング室改修工事 トレーニング室管理用備品購入	なし

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	0	25,930	0
歳入計（千円）		0	25,930	0
歳出	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	0	1,089	0
	14 工事請負費	0	24,321	0
	17 備品購入費	0	520	0
内訳				
歳出計（千円）（A）		0	25,930	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.00	0.85	0.00
職員人件費（B）		0	6,615	0
総事業費（A）＋（B）		0	32,545	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	工事完成度	%	目標	0.00	100.00	0.00
	令和3年度末までに、工事を完成させ、必要な備品を購入し、令和4年度から利用者に開放する。		実績	0.00	100.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	利用者数	人	目標	0.00	0.00	0.00
	他の貸室利用者や問い合わせに対し、多目的室の説明を行い、利用につなげる。		実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 働く女子及び勤労者家庭の主婦の職業生活等に必要な援助と福祉の増進に寄与する。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 トレーニング室を多目的室に改修することで、軽運動に利用することができる。利用ニーズに広く対応が可能となる。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 稲吉地区の拠点施設として、活用。コミュニティーセンターとしての活用も検討。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市街化区域に位置しており、神立駅は徒歩圏内。地区の公民館的な役割も果たしている。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 勤労青少年ホームに類似室があるが、老朽化している。今後、公共施設マネジメント計画において、方向性を検討する。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 一般競争入札により、改修工事をおこない、適切な改修ができた。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 公の施設の使用料条例において、適正な料金を設定し、運営している。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	窓口機能の移転が予定されており、所管替え等の検討が必要
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：関克明
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 令和4年度からは多目的室として、周知及び利用者数の増加に努められたい。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持）		記入者：大久保定夫
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 利用者の要望をききとり、より良い施設運営に努められたい。		